

氏名	早川 秀幸
職名	法科大学院客員教授

[略 歴]

年 月	事 項
平成9年3月	日本医科大学医学部 卒業
平成9年4月	日本医科大学救急医学教室（～平成11年3月）
平成15年9月	日本医科大学大学院医学研究科博士課程救急医学専攻 修了
平成15年10月	聖マリアンナ医科大学法医学教室 助手（担当科目：法医学）（～平成18年3月）
平成18年4月	公益財団法人筑波メディカルセンター筑波剖検センター センター長（～現在に至る）

[社会における活動等]

年 月	事 項
平成23年3月	東日本大震災 死体検案・身元確認に協力（～平成23年6月）
平成27年	日本医療安全調査機構 関東信越ブロック 調査支援医（～現在に至る）
令和6年4月	茨城県 児童虐待等対策検討アドバイザー（～現在に至る）

[主な研究業績等]

著書、学術論文等の名称	発行または発表の年月	備 考
編著		
1. オートプシー・イメージング読影ガイド（文光堂）	平成21年	分担執筆
2. Autopsy imagin（オートプシー・イメージング）ガイドライン（ベクトル・コア）	初版・平成21年 第2版・平成24年	分担執筆
3. 実践死後画像診断（メディカル・サイエンス・インターナショナル）	令和6年	分担執筆
論文		
1. Influence of putrefaction on concentrations of aconitum alkaloids in tissues. (Jpn J Forensic Toxicol. 21. 235-244)	平成15年	共著
2. 散弾銃による殺人事例-死後画像診断の有用性-(法医学の実際と研究、47. 79-83)	平成16年	共著
3. Sensitive determination of tetrodotoxin using column-switching liquid chromatography-mass spectrometry with electrospray ionization in mouse serum. (J Anal Toxicol. 28. 46-49)	平成16年	共著
4. Effects of long-term administrations of aconitine on electrocardiogram and tissue concentrations of aconitine and its metabolites in mice. (Forensic Sci Int. 148. 21-29)	平成17年	共著
5. 外表検査でわかること（臨床検査、53. 731-736）	平成21年	
6. Postmortem pulmonary edema: a comparison between immediate and		

delayed postmortem computed tomography. (Leg Med. 13. 151-155)	平成 23 年	共著
7. 筑波剖検センターにおけるオートプシーイメージング (Ai) の実際 (INNERVISION、28. 46-49)	平成 25 年	共著
8. Pseudo-Hirschsprung's disease with rectal hypoganglionosis: an autopsied case of circulatory failure due to severe constipation. (Leg Med. 17. 177-179)	平成 27 年	共著
9. Hepatic Relaxation Times from Postmortem MR Imaging of Adult Humans. (Magn Reson Med Sci. 15. 281-287)	平成 28 年	共著
10. 筑波剖検センターの導入された Ai 専用 CT 活用の現状 (INNERVISION、32. 40-42)	平成 29 年	共著